

# 辛亥革命 110 周年記念国際学術シンポジウム「東アジア世界と共和の創生」

2021 年 11 月 27 日（土） 9：30～17：50 ZOOM 使用

主催：孫文研究会、神戸華僑華人研究会 共催：（公財）孫中山記念会 助成：（公財）東華教育文化交流財団

開会の辞 9：30～

基調講演：深町英夫（中央大学）「直線亦或莫比烏斯環？孫中山の共和思想と近代中国の体制転型」

（直線かメビウスの輪か：孫文の共和思想と近代中国の体制転換）

第一分科会：政治社会分野 10：00～12：00 司会：蒋海波（孫文記念館）

尚小明（北京大学）「宋教仁被刺真相剖析」（宋教仁暗殺の真相解析）

緒形康（神戸大学）「東洋共和制始於宋案」（東洋共和制は宋教仁暗殺に始まる）

廖大偉（上海大学）「刺宋案与歴史分岔」（宋教仁暗殺と歴史の岐路）

第二分科会：思想文化分野 13：00～15：00 司会：宮内肇（立命館大学）

鄒小站（中国社会科学院）「民国初年の『暴民政治』問題」

（民国初年の「暴民政治」問題）

莊沢晞（中山大学）「辛亥革命の民権理想と実践走向」

（辛亥革命の民権の理想と実践）

徐兆安（中央研究院）「1920 年代的社會科學與繼續革命論：以陶希聖《中國社會之史的分析》為中心」

（1920 年代の社会科学と繼續革命論：陶希聖『中国社会之史的分析』を中心に）

第三分科会：華僑華人分野 15：10～17：10 司会：陳來幸（兵庫県立大学）

篠崎香織（北九州市立大学）「中華民国初期における議会の成立と華僑華人：華僑議員の派遣をめぐるペナンの華人の事例」

姜珍亜（韓陽大学）「朝鮮華僑と国民党：在京粵商同順泰号と忘れられた歴史」

易星星（兵庫県立大学）「共和制下における上海商業儲蓄銀行の創設と発展」

総括、閉会の辞

※基調講演、第一、第二分科会は中国語による報告。通訳はありません。日本語要旨あり。

第三分科会は日本語と中国語による報告。

## シンポジウム概要

1911年の辛亥革命により、中国では共和制の政治体制が誕生し、東アジア近代の歴史に大きな影響を与えた。しかしその道のりは平坦ではなかった。共和制の思想が西洋から伝来し、摂取されたが、さらにその制度導入と運用は極めて複雑な過程をたどった。百年以上を経た21世紀の今日においても、東アジアにおける共和制の受容と変貌過程の検証、今日的再検討と再認識する諸課題は、さらにその重要性を増している。そこで、辛亥革命110周年を記念して、共和制の歴史的諸相や、今後の展望を含め、東アジア政治における共和制のあり方を広く議論する国際シンポジウムを開催する。これを通じて、日中両国をはじめ、東アジア世界の平和と友好に寄与することを目指したい。

## 参加方法

参加は無料。11/20（土）までに、お名前、ご所属（任意）、メールアドレスを書き、「シンポジウムへの参加希望」を明記の上、以下のメールへお知らせください。後日、参加方法をメールでお知らせします。

ZOOMを使います。使用環境は各自でご準備ください。ZOOM操作につきましてのお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。

申し込み先：[sunwen150@gmail.com](mailto:sunwen150@gmail.com)